

第3学年 美術

学習の目標

・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

教科の目標と学校教育目標を達成するために目指す授業

☆生徒自身が表現の主題や表現方法を見いだせるよう、題材や材料と出会い方が工夫された授業
 ☆「思うように描きたい、つくりたい」という生徒の願いに応える適切なアドバイスの機会と場が設定された授業
 ☆友達の考えや表現の良さを感じたり、作家の独創的な表現やメッセージを感じ取ったりできる授業
 ☆生徒自身が根気よく制作に取り組み、全員が作品を完成させることを目指す授業

学習の仕方

◇忘れ物をしない。提出期限を守る。
 ◇日頃から身近にあるたくさんの美術作品に触れ色々な表現技法を学ぶ。
 ◇学んだ技法や材料・用具の特性を理解し、基礎的な技能を身につける。道具類を大切に扱う。
 ◇友達の意見や発表をしっかりと聞き、自分の意見や考えをしっかりと伝える。

観点別評価と評価の観点、評価方法

< 知識・技能 >

・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及し、見通しを持って創造している。
 ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、全体のイメージや作風をイメージできる。
 (ワークシート、作品等)

学習を効果的に進めるため、家庭にお願いしたいこと

○美術作品に触れる機会を増やす。
 ○日頃から美しい物に触れ、感動を記憶することにより、美しい物に気づく目を養う。
 ○教科書・ファイル・用具・資料等授業で使用する物をしっかり準備する。

< 思考・判断・表現 >

・感性や創造力を働かせて感じ取ったことや、考えたことを基に主題を生み出し、良さや美しさを工夫して表現している。
 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。
 ・伝達の効果や構成の目的を考え、洗練された美しさや、社会との関わりを見据えた構想を練っている。
 (ワークシート、作品等)

年間の指導計画

学期	
1学期	・ガイダンス ・風景画制作 ・基礎演習 ・美術史 ・立体制作(工芸)
2学期	・基礎演習 色彩演習 ・平面制作 ・作品鑑賞 美術史
3学期	・平面制作 デザイン演習 ・作品鑑賞
授業時数 35 時間	

< 主体的に学習に取り組む態度 >

美術の創造活動の喜びを味わい、目的を持って主体的に考え、表現や美術文化の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
 (授業での取り組み、作品等の提出物)